

# 【報告】産学官連携センター 2015年度報告

## Media Ambition Tokyo 2016への参加 (FashionTech Summit #001 他)

Industry-Academic-Government Cooperation Center: FY2015 Report  
Participation in Media Ambition Tokyo 2016 (FashionTech Summit #001)

池谷 和浩

Kazuhiro Iketani

デジタルハリウッド大学大学院 事務局長  
産学官連携センター 事務局長

本学の産学官連携センターでは、本学の目的および社会的使命を達成するために、メディアサイエンス研究所に所属する研究室の研究推進のためのプロジェクトの企画運営、研究等の成果の産業界への技術移転、大学発ベンチャーの育成支援等を行っている。本稿では2015年度の取り組みの中から、テクノロジーアートを都市へ実装する実験的なカルチャーイベント“MEDIA AMBITION TOKYO 2016” (メディア アンビション トーキョー 2016) への参加を報告する。主にファッション×テクノロジーの領域における研究活動であり、デジタルハリウッド大学メディアサイエンス研究所「杉山知之研究室」のヒラタモトヨシ研究員が中心となって推進されている。

### 背景

MEDIA AMBITION TOKYO [MAT] は、2015年度で4回目の開催となった、最先端のテクノロジーカルチャーを実験的なアプローチで都市実装するリアルショーケースである。2015年度の開催では開催エリアを拡大し、六本木を中心に、青山・銀座・飯田橋・御茶の水(デジタルハリウッド大学)・お台場・天王洲等、都内各所を舞台に最先端のアートや映像、音楽、パフォーマンス、ハッカソンやトークショー等が集結した。国内外の様々な分野のイノベーターや企業、イベントが参画し、注目を集めたテクノロジーアートの祭典である。本学の産学官連携センターでは、公式コンテンツとしてデジタルハリウッド大学の駿河台キャンパスを会場に、FashionTech Summit #001等の実施をすることで参画した。



### 実施概要

本学の主催により、2016年3月4日(金)～6日(日)の3日間、ITとFashionの未来を描くイベント「FashionTech Summit #001」を開催した。当日は、FashionTechの活用に取り組んでいる企業のパネルディスカッションから、新たなテクノロジーでサービス普及に取り組むスタートアップ企業のピッチやハッカソンなどを実施し、3日間の模様は、YouTube Liveなどによるライブ配信を行った。

### 【主なプログラム】

FashionTech ハッカソン 「未来のファッション」

3日間の創発的な環境をつくり、ファッションとテクノロジー各領域の融合とシナジーの創出を図る。FashionTechの新たなサービス・プロダクトの種をみつけ、ファッションの購買体験や店舗での体験を向上させるプロトタイプ制作をハッカソン形式で行った。

### 審査員：

市川渚様(デジタルコミュニケーションコンサルタント/DiFa編集長)

小川徹様(NHK デジタルコンテンツセンター 副部長)

北川竜也様(三越伊勢丹特命担当部長)

桐島ローランド様(写真家、マルチクリエイター)

軍地彩弓様(『Numero TOKYO』エディトリアル・ディレクター)

関根修二様(BEAMS 社長室 宣伝広報統括本部 デジタルコミュニケーションマネージャー)

中里周子様(NORIKONAKAZATO デザイナー)

西垣雄太様(『SnSnap』CO-FOUNDER/CEO 最高経営責任者)

パネルディスカッション Vol.1 「FashionTechと従来のファッション・ビジネスをつなぐもの」

FashionTech企業側から、従来のファッションビジネスの問題をどのように解決しているのかを解説する一方で、ファッションビジネス側はどのようにテクノロジーを利用しているのかを解説。両者間から生まれる次なる可能性を探った。

登壇者：

Andreas Olsson様 (VIRTUSIZE 日本代表)  
北川竜也様 (三越伊勢丹特命担当部長)  
書上拓郎様 (ABEJA事業本部マネージャー)  
村田昭彦様 (バイクルーズ取締役ICT統括)

モデレーター：

ヒラタ モトヨシ研究員 (モード・ファクトリー・ドット・コム代表)

その他、B2Cスタートアップ企業によるピッチイベント、デモ展示等を実施。

また、六本木ヒルズ会場では、デジタルハリウッド大学大学院在籍の12期生(2015年4月入学)・Olga氏が衣装デザインを手掛けた「Fabology」(セメダイン株式会社による導電性接着剤「セメダインSX-ECAシリーズ」を用いた作品)を製作パートナーのAglC株式会社とのコラボレーションにより展示。布に簡便に導電性が付与でき、かつ布への接着・追従性に優れた導電性ペーストである「セメダインSX-ECA」で、より簡便なウェアラブルデバイスの製作成果を公開した。代官山T-SITE GARDEN GALLERYの会場では、デジタルハリウッド大学大学院在籍の11期生(2014年4月入学)・福田浩士氏がCEOを務めるmeleapの新感覚ゲームシステム「HADO」を出展した。

大学院12期生 Olga氏による衣装「Fabology」



大学院11期生 福田浩士氏によるゲーム「HADO」



## FashionTech Summitについて

FashionTech (ファッションテック) は、大きく変わりつつあるファッションの世界をテクノロジーの力で研究開発していくとともに、Fashion×Technologyで業界の未来を切り開く活動である。クリエイションから製造流通、デジタルマーケティング、リテールソリューションと多くのプレイヤーが日本でも活動しており、FashionTechを軸に様々な事業者をつなげるコミュニティ形成を目指していく。